

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(6年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和6年9月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 258名 就職率 36.7% (参考)前年度目標 ・利用者 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者 203名 ・就職率 36.7%	利用者数 652名 支援対象者数 74名 就職者数 108名 就職率 14.9% (参考)前年同月実績 ・利用者数 821名 ・支援対象者数 75名 ・就職者数 140名 ・就職率 38.7%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

女性：40代 ・希望職種：仕分け・検査・検品

① 求職者の課題

・母子家庭の母。子ども4人。多額の債務あり。夫の急逝で生活の立て直しが必要となった。家計管理はすべて夫であった。結婚後就労なし。

② 紹介の経過

・支援開始時は求職条件が不明確、必要な収入、就労可能な時間、日数、就職時期が決められず。就職の前に解決すべきことが多く、何から手をつけていいのかわからなくなっていた。支援機関へ課題の明確化と解決の優先順位を付けていただいた。子どもの進学や諸手続きが多少落ち着いた頃に就職を考えられるようになったが、長いブランクへの不安と子どもの心配事を抱えていた。自宅から近く子育てに理解があり時間数や日数相談可能な求人に絞り提供。希望職種で経験を問わない求人が思いのほか多くあったことで前向きになれたが、応募先の選択に悩んだ。アパレル販売経験があり衣料品に多少馴染みがあることから、婦人服の検査検品作業を勧めた。就業日数の相談ができることで今後就労を増やせる可能性を話し応募を決断した。

③ 結果

・紹介就職 パート 婦人服出荷検品作業

④ 職業相談員の所感

・夫の急逝により家計管理から生活のすべてを本人が負うこととなった。長女は大学進学が決まっていたが諦め急遽就職となった。長男の中学卒業・高校受験、療育Bで不安定な状態になることが多い次男の小学卒業中学入学等が続き、家事・育児・債務整理・就職等複数の課題を抱え同時進行で解決することが必要だった。家計に関して支援機関が深く入り込むことを拒絶していたが、就職に対してはHWが送付した求人には返信され来所し相談を継続していた。すべてを急ぐ支援機関と、焦る様子が見られない本人との温度差が感じられた。支援開始から生活の変化、本人の心境の変化を聞き取り受け止め、状況に合わせて求人を提供。相談の中で今できることを一緒に考え、最後は自分で決断し前を向くことができた様にした。つながり続けられたことで就職に結びついた。

⑤ 本人のコメント

・自宅から徒歩で行ける。家庭の事情をくんでいただき、希望の時間・日数で働くことができる。頑張って続けたい。